

令和元年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	学校教育課	事業No.	262
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画		3	地育力が支える学び合いで、生きる力をもち、心豊かな人材を育む	
	分野別計画			飯田市教育振興基本計画	
法令・例規等					
事業目的		対象	小中学校児童生徒		
		意図	いじめ・不登校・問題行動等の相談対応にあたり、児童生徒が安心して学校生活を送れるようにする。		

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	1 教育相談員が、保護者等から寄せられた教育相談に親身に応じるとともに、案件によっては学校とも連携し、解決に向け適切に対応しました。 2 中間教室の適応指導員が、通級する児童生徒に対し適切に支援、指導を行うことで、学習の保障や在籍校への登校につながりました。 3 不登校の児童生徒を対象に体験学習を実施することで、自己肯定感の向上や学ぶ意欲の喚起につながりました。 4 県教委や民間団体との定期的な連絡会を通じて情報共有を行い、児童生徒や保護者への適切な支援につながりました。		教育相談員・中間教室指導員賃金			6,513					
			相談員等の旅費			29					
			相談室、中間教室消耗品等			149					
			講師謝礼(生徒指導研修・体験学習)			71					
			体験学習会場使用料			9					
			不登校児童生徒支援事業交付金			1,078					
					その他の経費		0				
活動指標	指標名(数値で表せる活動量)		単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	教育相談・中間教室適応指導員の配置		人	3	3	3	3	3	3		
	教育支援指導主事(人間関係担当)の配置		人	7	7	7	7	7	7		
	不登校支援連絡会の開催		回	18	18	18	18	18	18		
1年度決算(千円)	予算額		8,349	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		7,849								
	財源の状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	0								
一般財源		7,849									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	1	2	13	1	8,349	7,849	教育相談事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		・不登校児童生徒が、前年度に比べ30名増加しています。(小学校で+5名、中学校で+25名) ・小学校の不登校は47名で、特に高学年(4.5.6年で33名)に多い傾向です。 ・中学校の不登校は108名で、1年生は小6時7名から28名に、2年生は中1時22名から48名に増加しています。							
上記の課題解決のための有効策		・不登校対策5つのアクションに基づく、不登校の未然防止、早期の対応、適時適切な個別支援が重要です。 ・不登校の未然防止や早期対応に向けた教職員の研修会が重要です。 ・学校外における新たな学びや体験活動の充実など、自己肯定感や自己有用感を育む教育活動が重要です。							
次年度に向けての取り組み		・不登校の未然防止等に向け、教職員を対象にした安心安全な学級づくりに通ずる研修会を開催します。 ・中間教室適応指導員、教育相談員、教育支援指導主事による学級づくり、授業づくりの支援や適時適切な個別支援を行います。また、体験活動や校外での学びの場の充実を通じて、児童生徒の積極的態度の醸成や自己肯定感の向上を図ります。							